※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3010D

令和５年度　インテリア科

教科	工業	科目	インテリア実習	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

インテリア科では、快適な生活を送るために必要な家具等の制作を通して、インテリアのデザインや木工作品の制作、加工を学習します。この授業では、インテリアのデザインや木工作品の制作、加工に関する基礎的・基本的な技術、安全に配慮した道具の使い方、目的とする形状に加工する技術を身に付けます。
刃物や木工機械を使用します。安全に配慮し、担当の先生の指示をよく聞いて作業を進めるようにしてください。

2　学習の到達目標

インテリア科の科目「工業技術基礎」や「デザイン技術」、「インテリア製図」等と関連させ、イメージどおりの家具等を創造するための基礎的・基本的な技術を身に着けます。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	インテリアのデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組み、実際に活用しようとする態度を身に付けている。	インテリアのデザインや木工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深め、基礎的・基本的な技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。	インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、計画的に技術を活用している。	インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート プレゼンテーション 自己評価・相互評価	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート プレゼンテーション 自己評価・相互評価	作業状況の観察 作品 観察記録表 レポート 自己評価・相互評価	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート プレゼンテーション 自己評価・相互評価

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	基本操作・デザイン	実習オリエンテーション 安全教育 道具や加工機械の使い方 材料の加工方法 スツール等のデザイン スタディモデルの作成	○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	a:　インテリアのデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組んでいる。 ｂ：インテリアのデザインや木工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深めている。 ｃ：インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、計画的に技術を活用している。 ｄ：インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート 自己評価・相互評価等
2	木材加工	加工方法や機械等の練習 スツール用材料の切断と研磨 ほぞの作成と材料の接着	○ ○	○ ○ 	 ○	 ○	a:　インテリアのデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組み、活用しようとしている。 ｂ:インテリアのデザインや木工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深め、判断し、表現しようとしている。 ｃ:インテリアのデザインや木工等に関する基礎的･基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、計画的に技術を活用している。 ｄ:インテリアのデザインや木工等に関する基礎的･基本的な知識を身に付けている。	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート 自己評価・相互評価等

※令和３年度以前入学生用

3	木材加工	材料の接着と研磨 塗装や仕上げ プレゼンテーション	○ ○	○ ○	○	○	a: インテリアのデザインや木工等、ものづくりに関心をもち、制作に向けて意欲的に取り組み、実際に活用しようとする態度を身に付けている。 ｂ:インテリアのデザインや木工等に関するアイデアや技法の課題解決をめざして考えを深め、基礎的・基本的な技術を基に判断し、表現しようとする態度を身に付けている。 ｃ:インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。安全や環境に配慮し、計画的に技術を活用している。 ｄ:インテリアのデザインや木工等に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	作業状況の観察 ワークシートの記述 作品 観察記録表 レポート プレゼンテーション 自己評価・相互評価等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。